

1.12 岩瀬文庫（国語分野）

(1) 研究開発の課題（概要）

岩瀬文庫は、明治41年西尾市の豪商岩瀬弥助が私財を投じ、独力で設立した私立図書館が始まりで、今年創立100周年の歴史を持つ文庫である。重要文化財の指定を受けた資料をはじめ、古典籍から近代の図書、日本ばかりでなく中国や朝鮮のものまで、蔵書数8万点余、孤本、稀覯本も多く、最初から図書館の開設を目的として蔵書を購入したため、あらゆる分野の資料がそろっている。

今回のワークショップでは、岩瀬文庫所蔵の写本、木版本の実物にふれ、わが国の書籍文化の歴史について学び、古典籍についての理解を深めることを目標とした。文庫の学芸員、林知左子先生に詳しい解説をお願いした。終了後、参加者にアンケートを実施した。

(2) 仮説（ねらい、目標）

- ・わが国の書籍文化の歴史について理解する。
- ・本の装丁（卷子本、折り本、粘葉装など）について学び、古典籍を実際に手にとって閲覧することによって、当時の書物のあり方を理解する。
- ・蔵書を保護するための中性紙保存箱を作成することによって、書物を大切にしてきた先人の思いを理解する。

(3) 研究の方法・内容

ア 対象生徒 希望者 29名 1年 男子0名 女子6名（計6名）
2年 男子0名 女子8名（計8名）
3年 男子2名 女子13名（計15名）

イ 実施日程 平成22年8月10日（火）

ウ 実施場所 西尾市岩瀬文庫（西尾市亀沢町480）

エ 実施内容

(ア) 岩瀬文庫について

- a DVD鑑賞・・・岩瀬文庫の歴史について
- b 蔵書について解説（学芸員 林 知左子 先生）

(イ) 常設展の解説と見学

- a 日本の書物の文化と歴史について、展示物を見ながら学芸員の先生に解説をしていただいた。
- b 卷子本、折り本、粘葉装本など、様々な装丁の古典籍の扱い方について、レプリカを用いて学び、実際に扱わせていただいた。

(ロ) 企画展の解説と見学

企画展示されている「SENGOKU（戦国）」について、展示物を見ながら学芸員の先生の解説を伺った。

(ハ) 古典籍の閲覧

午後は、事前に生徒が閲覧を希望していた古典籍を拝見させていただいた。『源氏物語』『住吉物語』『豆腐百珍』『道成寺絵巻物』『〈女子風俗〉化粧秘伝』など、直接手にとり、見させていただいた。

(ニ) 書籍保存箱の作成

岩瀬文庫では、ボランティアの方々の手によって、書籍を保護するための中性紙保存箱を作成し、収納するということが行われている。今回は、ボランティアの方からご指導を受け、その体験をさせていただいた。



保存箱作成の作業の様子

(カ) 旧書庫の見学

大正時代に建てられたレンガ造りの岩瀬文庫旧書庫（国登録文化財）の内部見学をさせていただいた。通常は非公開である。

(キ) 名古屋大学教授 塩村 耕先生の書誌学に関するお話

(4) 検証（結果と反省）

ア アンケートの結果

○レプリカによる古書の扱い方について
①十分理解できた(17) ②概ね理解できた(11) ③あまりよく理解できなかった(0)
○企画展（SENGOKU）解説と見学について
①よかった(15) ②概ねよかった(13) ③あまりよくなかった(0)
④期待はずれだった(0)
○旧書庫の見学について
①よかった(18) ②概ねよかった(9) ③あまりよくなかった(1)
④期待はずれだった(0)
○「古典籍の実物に触れる」について
①よかった(22) ②概ねよかった(6) ③あまりよくなかった(0)
④期待はずれだった(0)
○保存箱の作成について
文化財を保存するという作業が
①十分実感できた(22) ②概ね実感できた(6) ③あまり実感できなかった(0)
○「大学の先生のお話」について
①よかった(24) ②概ねよかった(4) ③あまりよくなかった(0)
④期待はずれだった(0)
○今回の研修に参加して、
①よかった(20) ②概ねよかった(8) ③あまりよくなかった(0)
④期待はずれだった(0)

イ 生徒の感想

・実際に古書の本物に触れられるという貴重な体験ができておもしろかった。(3年女)
・学芸員の先生がわかりやすく解説してくださり、すごく楽しかった。古典に触れる時間をもっと増やしてほしい。保存箱を作成したり、古典籍に触れることで歴史の重さを体感できた。(3年女)
・学芸員さんや大学の先生やボランティアさんが丁寧かつ興味深く話してくださったので、最後まで楽しめた。貴重な実物に触れたり、それを保存する箱を作ったりしたのも良い経験になった。(2年女)
・感動の連続でした。古書に触れるという貴重な体験がとても心に残りました。古書の手ざわりに時代の流れを感じました。保存箱の作成も魅力的だと思います。(2年女)
・古書とはいっても、今に通じるものも多く、とても面白かったです。古いメイク法など、人々が興味を持つものは変わらないんだな…と思いました。実際に古書に触ったり、書庫に入った時はとても感動しました！来て良かったです。(1年女)

ウ 今後の実施に向けて

- ・生徒のアンケート、感想からも大変有意義な研修であったと考える。次年度も可能であれば継続したい。
- ・〔旧書庫の見学・大学の先生のお話〕〔古典籍に触れる〕〔保存箱の作成〕の3つの研修内容をA班（1年生＋3年生の一部）B班（2年生）C班（3年生）が順繰りに回るとい形は昨年度のままであるが、昨年度の反省をいかして各研修を45分ずつにしたのは時間的に余裕ができて良かった。